令和8年度　あおもり創造学

青森県立八戸中央高等学校　定時制　　探究テーマ一覧

1	災害時の学校と社会の繋がり
2	「働く」とは何か？労働の権利と義務を探る
3	SNSと人権：誹謗中傷と表現の自由の境界線
4	税金について
5	世界のジェンダー政策と日本の現状を比較する
6	フェミニストについて
7	SNSと人権：誹謗中傷と表現の自由の境界線
8	18歳からの選挙権について
9	税金はなぜ必要？高校生から考える公共の仕組み
10	ジェンダー平等はなぜ必要なのか
11	税金の必要性
12	若者の犯罪増加について
13	若者の声を社会に届けるには？意見表明の方法を探る
14	税金はなぜ必要？高校生から考える公共のしくみ
15	社会的マイノリティと人権：共生社会を目指して
16	ジェンダー平等はなぜ必要？身近な社会から考える
17	家計簿をつけてお金の使い方を考えよう
18	良い睡眠をとるには
19	自分に合う職業について
20	インフレが私たちの生活に与える影響
21	ラクしてお金を稼ぐには
22	基本的な税金について
23	青森県における雪害と地震・津波の複合災害への備えと課題
24	上手なお金の使い方
25	人はなぜ「夢」を見るのか
26	運動の大切さについて
27	野生動物との共生
28	物価と生活「インフレが私たちの暮らしに与える影響」
29	家計簿をつけてみよう
30	仕事と暮らしの両立について
31	職業別の生涯賃金を比較する
32	税金は必要なのか
33	健康で長く生きるためには？
34	税金について
35	節約術
36	食生活等を見直して、健康で長く生きるには？
37	親知らずについて

38	仕事と遊びの両立
39	「お金」と「幸せ」の関係を考える：豊かさとは何か？
40	犬派と猫派　どちらが多いか
41	賃貸・購入シェアハウスの比較
42	ワークライフバランスについて
43	ChatGPTの回答はどれくらい正確か
44	ソフトテニスの基礎、サーブやルールについて
45	バレーボールについて
46	高卒労働者と大卒労働者の違い
47	夏の暑さを乗り切るには
48	殺処分ゼロをめざして～保護猫とわたしたちができること～
49	イラストの需要について
50	一人暮らしについて
51	低価格とメンテナンスを両立したこれからの農業機械のあり方
52	IC(集積回路について)
53	一人暮らしをしていくために必要な知識
54	進路の選択について
55	社会人の心構えについて
56	働くときに必要な資格
57	進路の選択について
58	人とのコミュニケーションについて
59	動物と生きることについて
60	将来について
61	自衛隊について
62	ITについて
63	働くことについて
64	介護職について
65	整備士について
66	豊かさとは何か、お金と幸せの関係を考える
67	介護の現状と未来
68	部屋探し
69	公共料金の節約
70	なぜ日本は30年以上経済が成長しないのか
71	自分のなりたい職業について
72	税金は必要か
73	お金の使い方
74	働くと暮らすの両立
75	校則・制服の自由化とジェンダー
76	社会保障制度を支える仕組みとその課題

77	制服の自由化とジェンダー
78	誹謗中傷と表現の自由の境界線(グループ探究)
79	「働く」とは何か?労働の権利と義務を探る
80	制服の自由化と性別問題
81	災害時に守られるべき人権は?
82	消費税の仕組みや使い道
83	税金の使い道と私たちの暮らしとのつながり
84	クマの出没理由
85	防災訓練の改革について(グループ探究)
86	18歳からの選挙権について(グループ探究)
87	ジェンダー平等について
88	ライブチケットの公平性について
89	SNSと人権について
90	防災訓練の改革について
91	税金について
92	社会的マイノリティと人権について
93	匿名による暴力性の加速について

定時

令和８年７月１７日（金）

令和８年度　「　あおもり創造学　～創作太鼓 響による演舞とワークショップ～　」（案）

１　目　　的　　郷土芸能に触れ、体験することを通じて生徒の郷土に寄せる気持ちを育む。

２　期　　日　　令和８年１０月１６日（金）

３　日　　程　　～１３：００　　生徒出校（３部合同）
１３：００～１３：１０　　ＳＨＲ
１３：１０～１３：２０　　体育館移動（椅子持参）
１３：２０～１４：０５　　演舞披露とワークショップ
１４：０５～１４：２０　　トイレ休憩
１４：２０～　　八中央祭開祭式

４　場　　所　　本校体育館

５　対　　象　　本校生徒・教職員

６　講　　師　　創作太鼓　響　　代　表　　大柳　彩乃　氏

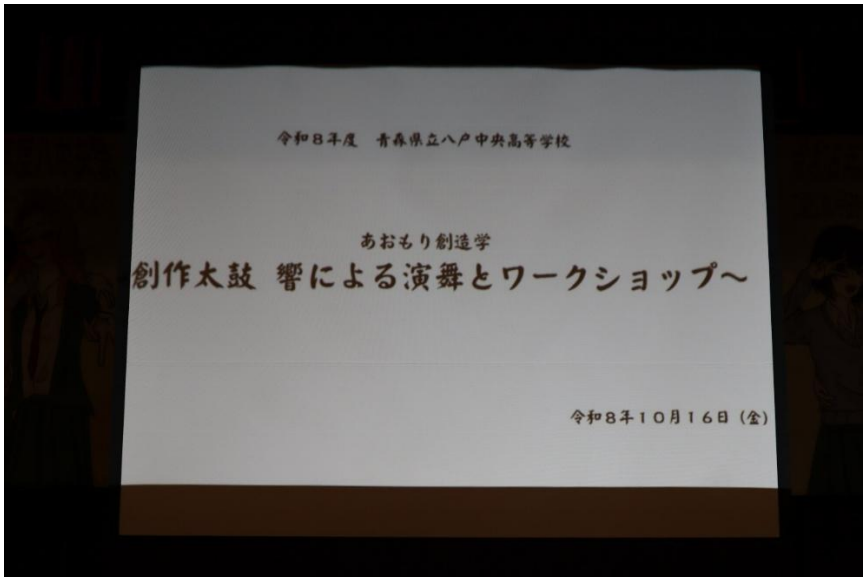
７　演　　題　　「　あおもり創造学　～創作太鼓 響による演舞とワークショップ～　」

８　係　分　担　　（１）会場設営・・・松森（夜間部）
（２）放送・視聴覚機器（プロジェクター・スクリーン）準備・・・松森（夜間部）
（３）演題（プロジェクターで投影）・・・松森（夜間部）
（４）整列指導・・・駒目、生徒会役員
（５）進行・・・松森
（６）写真撮影・・・工藤颯・林（文化祭役割分担表に準ずる）

令和８年度　青森県立八戸中央高等学校

あおもり創造学「創作太鼓　響による演舞とワークショップ」

タイトル



①　創作太鼓の演舞披露

② 太鼓の実技体験・ワークショップ

③ 太鼓の実技体験・ワークショップ

令和7年度 総合的な探究の時間・あおもり創造学
生徒研究課題一覧

No.	研究課題
1	CAの課題とその対策について
2	ハムスターの誕生
3	災害時の怪我の対応と対策
4	美容師について
5	積雪時に起こる災害時の避難
6	必要な防災グッズ
7	日焼け止めクリームの肌の守り方
8	SNSのデメリット
9	どれだけの人が自然災害に備えられているか
10	米の品種改良
11	環境問題について
12	すべての人に健康と福祉
13	環境汚染
14	雪による自然災害について
15	米の値段が高くなった理由
16	SDGs
17	選挙の公約達成率
18	戦争について
19	SDGs
20	未婚率
21	自衛隊や兵器の存在意義
22	温暖化
23	日本を支える仕事、日常を支える仕事
24	うつについて
25	ロングポテトの作り方
26	オーロラなどの自然現象の発生場所や理由
27	キリンについて
28	なぜゲームをするのか
29	防災グッズについて
30	なぜ青森県は短命なのか
31	ゾウについて
32	筋肉を大きくすること
33	ゲームをする人が増えているのはなぜか
34	サモエドスマイルについての考察
35	なぜ人は虫を触れなくなるのか
36	離乳食について
37	ネコの種類と進化について

No.	研究課題
38	高齢者や子どものための防災グッズについて
39	なぜ人はゲームに課金するのか
40	サルについて
41	若い世代の人の選挙の投票率について
42	デリバリーアプリ
43	なぜガレリアのパソコンは人気なのか
44	睡眠について
45	四川料理の歴史
46	スクールバスの色の疑問
47	猫の殺処分について
48	人間の味覚について
49	ネット詐欺
50	米農家の仕事
51	インターネットについて
52	映画館の仕組みについて
53	避難所での健康を守るためにできること
54	昆虫食
55	様々な状況での災害事前準備について
56	肌について
57	ゲーム理論と日常
58	円安の原因と及ぼす影響
59	公認会計士の役割、貢献
60	避難所で必要なもの
61	時代ごとの大震災と災害を機に変わったこと
62	災害時の避難所におけるペット同伴避難の課題と対策
63	ストレスについて
64	睡眠について
65	人間の生活と命のバランス
66	地球温暖化の影響・対策
67	介護職の現状
68	挨拶の重要性について
69	美しい指を作るために
70	男女比について
71	ゲームをすることで人体にどのような影響が現れるか
72	日本の少子高齢化？少子高齢化問題の現状と課題 そして対策？
73	スポーツをすることでのメリット
74	AIと人間の違い、これからの付き合い方
75	日本の物価高騰について
76	食事と体調不良について

No.	研究課題
77	依存症とは?
78	ガソリン代高騰について
79	社会福祉士・認定心理士について
80	資格について
81	サービス業に関する調査
82	地震について
83	福祉について
84	少子化について
85	マンホールトイレについて
86	就職で役立つ資格について
87	サービス業に関する調査
88	調理について
89	QRコードについて
90	看護と介護の在り方について
91	学生はなぜバイトをするのか
92	日本の食糧自給率を高めるためにはどうしたらよいか
93	災害時の体温の保ち方

令和7年7月2日
2年次

令和7年度 総合的な探究の時間 「地域とつながる」講演会 実施要項（案）

1 目 的　八戸地方最大の祭りである八戸三社大祭についての講演を通して、地域への理解・愛着を深める。

2 日 時　令和7年7月15日（火） 午前部：2校時、午後部：7校時、夜間部：9校時

3 日 程　午前部 午後部 夜間部
（午前部は1校時、午後部は6校時終了後すぐに体育館へ移動）

	午前部	午後部	夜間部
講師紹介	9:35- 9:40	14:55-15:00	17:35-17:40
講　話	9:40- 10:10	15:00-15:30	17:40-18:10
移　動	10:10- 10:20	15:30-15:40	18:10-18:20

（感想文は翌日に提出）

4 対 象　2年次生徒

5 場 所　本校体育館

6 内 容　八戸三社大祭について

7 講 師　八戸三社大祭 淀山車組 代表 大野素敬 氏

8 使用物品　マイク、パソコン、プロジェクター

9 その他
・生徒は前の授業が終わったらすぐに体育館へ移動する。椅子・筆記用具・総探ファイルを持参する。
・講演開始前に感想文用紙を配布する。

① 八戸三社大祭講演会 講演（2025年7月15日）

② 八戸三社大祭講演会 演舞披露（2025年7月15日）

③　八戸三社大祭講演会　太鼓実技体験（2025年7月15日）

令和6年度　あおもり創造学テーマ一覧　　no.1

所属部	年次	探究テーマ名
夜間部	2	防災について知る
午前部	2	赤ちゃんと防災
午前部	2	防災について
午前部	2	おいらせ町の災害
午前部	2	大事なペットといざという時の備え避難について
午前部	2	ペットと防災
午前部	2	アニメで学ぶ防災
午前部	2	今後の災害の対策について
午前部	2	防災グッズについて
午前部	2	減災を少しでも増すために
午前部	2	楽に作れる食べ物
午前部	2	人間と防災
午前部	2	災害が起きたらどう対処すればいいのか
午前部	2	地域別 いろいろな防災訓練
午後部	2	災害時の対応について
午後部	2	人を一人でも多く救うために
午後部	2	地震と津波の被害の差
午後部	2	私たちができる災害のための備え
午後部	2	日本の建物の耐震設計はどうなっているのか
午後部	2	災害後の心的障害について
午後部	2	自然災害に対して危機感がな人が多いのはなぜか
午後部	2	防災グッズについて
午後部	2	地震が起きたとき、どのようにすればよいか
午後部	2	災害時のペットについて
午後部	4	おすすめの防災グッズと使い方
午後部	4	災害が発生してから起こりうる出来事と避難する際の注意点(防災グッズ込み)
午後部	4	避難所や被災地のボランティア活動
午後部	4	現在、切迫している災害とそれに対する防災・減災の仕方
午後部	4	災害時の停電への対応と備え
午後部	4	防災グッズについて
午後部	4	防災時に役にたつご飯もの
午後部	4	避難の仕方について
午後部	4	防災リュックと備蓄品を用意しよう。
午後部	4	外出先で被災した際の帰宅
午後部	4	避難できない人の心理を理解する
午前部	3	避難の際のマンホール被害
午前部	3	自然災害の種類、危険性、対策

令和6年度　あおもり創造学テーマ一覧　　no.2

所属部	年次	探究テーマ名
午前部	3	避難所を快適にする製品
午前部	3	避難所に対する不安を減らすために
午前部	3	避難所生活に必要なものと準備しておくべきもの
午前部	3	防災グッズの重要さ
午前部	3	おすすめの防災グッズ
午前部	3	災害時のおすすめ100均防災グッズ
午前部	3	避難する際どこに避難するか、どのルートで避難するかの確認方法
午前部	3	素早く非難するため、そして避難先で困らないように常備しておくと良いものについて
午前部	3	おすすめ防災グッズ
午前部	3	避難の仕方、タイミングについて
午前部	3	冬に災害が起こった時の避難や防災グッズ
午前部	3	災害時のライフラインについて
午前部	3	自分の命を守ろう
午前部	3	命を守って生き延びよう
午前部	3	東北にでかい地震が来る確率はどんな感じなのか
午前部	3	防災食の作り方
午前部	3	普段から持ち歩ける防災グッズは何か？
午前部	3	避難所生活について
午前部	3	各災害の避難の仕方について
午前部	3	災害時に役立つ便利グッズとその応用
午前部	3	災害が起こったときの避難について
午前部	4	避難所を快適に過ごす製品や工夫
午前部	2	災害時に備えて自分たちが今できることは
午前部	2	災害時の対応
午前部	2	なぜ災害は発生するのか
午前部	2	災害時用の食料と普段の食料の違いは何なのか
午前部	2	防災グッズの種類
午前部	2	防災グッズの必要性について
午前部	2	避難所生活で必要なもの
午前部	2	防災グッズの使い方について
午前部	2	はじめやすい防災・減災
午前部	2	季節に合わせた防災対策とは？
午前部	2	いろんな種類の防災グッズ
午前部	2	ダンボールベッドのメリット・デメリット
午後部	3	自主避難先の決め方
午後部	3	災害時のペットについて～ペットと避難するには～
午後部	3	非常食について

令和6年度　あおもり創造学テーマ一覧　　no.3

所属部	年次	探究テーマ名
午後部	3	防災道具～あったら便利なべんりグッズ～
午後部	3	小さい子を連れた避難について
午後部	3	ハザードマップはどのように作られているか
午後部	3	避難所における食事について
午後部	3	日本の災害の特徴
午後部	3	避難所の不便とその解消法
午後部	3	避難所生活をよりよくするための工夫
午後部	3	段ボールベッドについて
午後部	3	マンホールトイレについて
午後部	2	水害について詳しく知ろう
午後部	2	災害時の行動
午後部	2	防災のための事前準備について
午後部	2	家の中でもできる減災は何か
午後部	2	災害からの復興について
午後部	2	土砂災害の原因や起こる事による被害
午後部	2	各災害時の避難方法や避難先はどうしたらよいか
午後部	2	八戸市の防災の取り組み
午後部	2	能登半島地震を経験して見えた減災・防災
午後部	2	日頃から、防災、減災して被害を少なくしよう。
午後部	2	なぜ日本は自然災害が多いのか
午後部	2	災害後の片付け、掃除はどのようにするのか
午後部	2	場所ごとの津波の被害
午後部	2	防災グッズについて
午後部	2	水害時の準備･避難方法
午後部	2	避難所生活でストレスを溜めないようにするにはどのような工夫が必要か
午後部	3	ハザードマップはどうやってできているのか
午後部	3	地震に強い家を建てる
午後部	3	缶詰の様々な食べ方
午後部	3	被災時にどんな保存食が適しているのか
午後部	3	津波の規模
午後部	3	避難場所での生活
午後部	3	避難バックのカスタム
午後部	3	災害の種類と二次災害
午後部	3	地震は、なぜ起きるのか
午後部	3	非常食の保存期間
午後部	3	台風が来る理由
午後部	3	非常食の種類はどのくらいあるのか

野田村道の駅

野田漁港で水産業の再興について説明を受けている様子

岩手県野田村 徒歩の震災学習

～自分の命を守るためには～

防潮堤を散策

防潮堤上から美しい海

鎮魂の祈りを捧げる
大津波記念碑

災害に直面した時の
具体的な行動のイメージは？
自分の命？家族の命？誰かの命？
究極の選択、どれも正解。
日常から「備える」大切さ

「あおもり創造学」プロジェクト事業

令和５年度　１年次遠足　実施要項

１　目　　的　（１）生徒相互および職員と生徒間の交流を図る。
（２）防災意識を高め、社会生活におけるルールや公共マナーを学ぶ。
（３）震災学習を通して、震災について知ると共に私たちがこれから生きていく上で意識していくべきことについて学ぶ。

２　日　　時　令和５年７月１４日（金）　８：３０～１４：００

３　場　　所　岩手県野田村役場
岩手県野田村（九戸郡）九戸郡野田20-14　TEL：0194-78-2111
おおのキャンパス
岩手県九戸郡洋野町大野58-12-3　TEL：0194-77-3202

４　参加生徒　７５名（午前部：３３名、午後部：４０名、夜間部：２名）

５　引率教員　８名（１年次正副担任：８名）

６　日　　程

時刻	行　　程
8:15	学校集合
8:30	学校出発
9:15	野田村　道の駅　トイレ休憩
9:50	野田村漁港　着　見学・語り部
11:20	野田村発
12:00	おおのキャンパス着　昼食
13:15	おおのキャンパス発
14:00	学校着

令和５年度　あおもり創造学テーマ一覧(個別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
1	夜間部	2	体験談から学び、これからできる対策について
2	夜間部	2	避難時に起こりうる出来事について
3	夜間部	2	災害の種類と対策
4	夜間部	2	避難所で起こりうる出来事について
5	午前部	3	災害が起きたら必要な防災グッズ
6	午前部	3	避難生活中に役立つスキルや知識
7	午前部	3	避難所での生活を快適にする製品
8	午前部	3	災害が起きたときの対処法
9	午前部	3	ペットを災害から守るには
10	午前部	3	災害時の電気・ガス・水道について
11	午前部	3	災害のライフライン
12	午前部	3	おしゃれな防災グッズ
13	午前部	3	防災グッズ
14	午前部	3	災害時にあった方が良い物
15	午前部	3	防災グッズと使い方
16	午前部	3	防災グッズ
17	午前部	3	自然災害と注意点
18	午前部	3	避難所を快適にする製品や工夫
19	午前部	3	これは必須！持っておくべき防災グッズ（年齢別）
20	午前部	3	日本に地震が多い理由
21	午前部	3	持っておいたほうがいい防災グッズポイント
22	午前部	3	地震の予知、予測は可能なのか
23	午前部	3	青森の地震について
24	午前部	3	避難所に避難する時の持ち物について
25	午前部	3	地震が起こる原因
26	午前部	3	津波について
27	午前部	3	防災において用意するもの
28	午前部	3	地震の二次災害
29	午前部	3	地震のメリット in Japan
30	午前部	3	災害時私達ができること
31	午前部	3	災害時のデマがもたらす悪影響
32	午前部	3	防災バックの保存場所と入れるべきもの
33	午前部	3	非常用持ち出し袋の中身を確認しよう
34	午前部	3	津波について・・・避難時で起きた出来事
35	午前部	3	用意しておいた方がいい防災グッズ
36	午前部	3	避難所で健康に過ごすための方法
37	午後部	3	津波と洪水の発生
38	午後部	3	災害時に自分たちができることを考えよう
39	午後部	3	新井田川で起きる災害
40	午後部	3	オススメ防災グッズと避難所で役立つ知恵
41	午後部	3	南部町の防災
42	午後部	3	災害毎の避難のしかた
43	午後部	3	私の災害時の水道、電気、ガス
44	午後部	3	人工的に起こる災害
45	午後部	3	三戸町の防災について

令和５年度　あおもり創造学テーマ一覧(個別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
46	午後部	3	もしまた大型地震が起こったら
47	午後部	3	私の町の防災レポート
48	午後部	3	オススメ防災グッズ
49	午後部	3	僕の防災レポート～八戸市で災害に遭ったら～
50	午後部	3	地震(津波発生)による死因調べ
51	午後部	3	災害が起きた際の予測や対応について
52	午後部	3	防災グッズを買う時のポイント
53	午後部	3	避難する時のバッグの中身とあれば便利なもの
54	午後部	3	災害時の電気、ガス、水道
55	午後部	3	防災グッズとその使い方
56	午後部	3	お薦めの防災グッズ
57	午後部	3	災害グッズ
58	午後部	3	お薦めの防災グッズ
59	午後部	3	災害に備えて用意しておくべきもの
60	午後部	3	災害時、逃げる時のポイント
61	午後部	3	災害グッズ・地震への備え
62	午後部	3	避難場所
63	午後部	3	緊急連絡網
64	午後部	3	お薦めの防災グッズ
65	午後部	3	断水した時のための対策
66	夜間部	3	避難所で健康に過ごすための方法
67	夜間部	3	避難所に避難する時の持ち物について
68	夜間部	3	災害時私達ができること
69	午後部	4	一人の時に地震が起きたら･･･
70	午後部	4	地震発生時の対処法
71	午後部	4	災害時の生存方法
72	午後部	4	津波発生時の避難ルート
73	午後部	4	災害時のペット救済法
74	夜間部	4	災害時のガス、電気、水道はどうなる？
75	夜間部	4	防災リュックについて

令和５年度　あおもり創造学テーマ一覧(グループ別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
1	午前部	2	自分の地域の避難所の特徴について
2	午前部	2	過去の災害から学ぶ防災と減災の方法について
3	午前部	2	登校中や授業中、下校中に大きな地震が起きた時の対処法
4	午前部	2	避難所の共通点
5	午前部	2	いろいろな災害から学べる役に立つ知識について
6	午前部	2	過疎地域の高齢者の避難について
7	午前部	2	避難所の特徴・基準について
8	午前部	2	津波がきたときの避難について
9	午後部	2	八戸市の一次避難所と二次避難所、そしてペットの避難所について
10	午後部	2	東日本大震災前後の避難所の設備の変化について
11	午後部	2	身近な災害からの被害を受けて、今後できること
12	午後部	2	非常食について
13	午後部	2	八戸市はどのくらいの避難所があるのか
14	午後部	2	避難所でのトラブルについて
15	午後部	2	下校中の避難について
16	午後部	2	避難所での食事について
17	午後部	2	災害時予想される二次被害について
18	午前部	4	学校にある防災グッズと活用

「あおもり創造学」プロジェクト事業

令和４年度　生徒/地域住民合同防災訓練　実施概要

１　目　的　　地震や津波の災害が多発している地域で今後災害の切迫性が高い地域でもあることから、地域住民と合同で防災訓練を行い、生徒の災害に適切に対応する能力を高め、津波避難ビルとしての役割についても考える

２　日　時　　令和４年６月１１日（土）　１０：００～１２：００

３　場　所　　本　校

４　参加者　　本校生徒及び教職員、諏訪地区地域住民

５　アドバイザー　青森県防災士会八戸支部　館合　裕之（たてあいひろゆき）　氏
略歴　八戸市福祉部高齢福祉課課長
総務省消防庁委嘱の「災害語り部」として、八戸市内の小中学校から全国の自治体まで、各地で講演

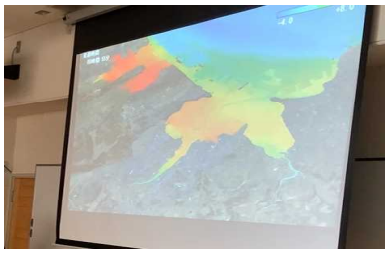
６　概　略

時間	内容	教職員の動き	生徒の動き	地域住民の動き
９：４５			生徒出校	
～９：５５		SHR終了後職員室に戻る	SHR	
９：５５	地震発生	教頭が地震発生の放送 「地震発生、地震が収まるまで机などで頭部を保護してください。」 担任が各HRへ移動。	安全確保 ※地震が収まるまで机などで頭部保護。	安全確保
～１０：００	地震が収まる	担任が避難準備の指示。	カバン・スマホ等をもって避難準備。	
１０：００	津波警報発令	教頭は、津波警報放送 「ただいま津波警報が発令されました指示に従って避難してください」（２回繰り返し） 生徒をグランド側に誘導し舘花下交差点に移動。 ※担任：逃げ遅れがないか点呼確認及び体調不良者の確認。 ※生徒指導部：避難誘導及び逃げ遅れ生徒の探索。	グラウンド側から舘花下交差点に向けて避難。自転車避難者も同様。交差点まで移動後、帰校。	学校玄関前に避難
１０：０２	地域住民が避難する			玄関から、スリッパに履き替え特別棟４階【視聴覚室】へ避難開始 ※夜間はガラス戸を破壊して入る事を説明。
～１０：１０	住民避難完了	＊舘花下交差点で待機職員が確認。		点呼・体調不良等の確認
～１１：００		担任･副担任は、生徒を誘導し交差点まで往復。	防災士によるレクチャーと講評をグランドで実施。	防災士によるレクチャーと講評のためグランドに移動。
	終了後	HRへ移動し、振り返りアンケートを記入		
～１２：００	SHR	諸連絡		地域住民解散

防災士の指導の下
地域住民と避難訓練
をする生徒たち

地域住民へ
避難方法の説明

避難後、ハザードマップ
を確認する地域住民



防災士による
レクチャーと講評